

【令和5年度取組方針】

全会一致
で承認!

短期間で実装・検証・改善を繰り返し

「稼ぐチカラ」を生み出すビジネスモデルの創出を図る

【取組の考え方(4つの柱)】

良質な
ネットワークの
拡充&情報収集

積極的な
チャレンジに
向けた機運醸成

ビジネスチャンスに
つながる
可能性の模索

現場課題を起点
とするビジネス
チャンスの創出

【ビジョン達成に向けた取組イメージ】



ふくろい産業
イノベーション
センター

ふくろい産業イノベーションセンター ニュースレター Vol.12

発行日：令和5年3月17日(金)

発行者：ふくろい産業イノベーションセンター事務局

令和5年度の事業計画・予算(案)が「承認」 ～第6回「ふくろい産業イノベーション推進協議会総会」で協議～

3月15日、本センターの設置主体である「ふくろい産業イノベーション推進協議会」第6回総会が開催され、令和4年度取組実績等の報告を行うとともに、令和5年度事業計画・予算等について、熱心に協議いただきました。各委員からは、本センターの取組状況や今後の取組方向性等について、示唆に富んだ意見が多数出されたほか、協議事項(令和5年度事業計画・予算)について、全会一致で「承認」を得ることができました。

次年度については、上記に掲げる取組方針・取組の考え方を踏まえて事業を展開することで、「稼ぐチカラ」を生み出すビジネスモデルの創出(「挑戦」「変革」「共創」の見える化)を図るとともに、地域内の「新たな価値創出」に向けた好循環のスキーム構築につなげ、できる限り早い成果獲得を目指してまいります。



各委員意見要旨

●より良い取組としていくには「情報発信」の強化が不可欠

取組や今後の展開は「了」。ただ、様々な地域企業の主体的な取組を促していけるよう、情報発信を更に工夫、充実させるべき。企業が「いかに稼ぐか」という視点を持ち、何かしらの分かりやすい成功事例を示すとともに、金融機関の力を借りながら情報発信をする等に取り組むことで、より良い活動につながっていくと考える。

●地域企業の主体的な取組を促すには「見える化」と「異業種交流」が大切

センター活動を通じ、企業の課題や製品の価値等が数値化、見える化され、何が良いのかが明確になること、裏付けされることにつながれば、中小企業の取組の動機付けになるのではないかと考える。

また、異業種、多業種が交わる機会・場を設けることで、様々な意見や考え方が重なり、新たな価値創出に向けた取組や地域活性化につながっていくと考えられるため、積極的に取り組まれない。

●「成果創出」には産学の結合をより促進していくことが重要

次のフェーズは何よりも「目的」と「成果創出」が大事。成果創出には、産のニーズと学のリソースをいかに結合させて新たな価値創出につなげていくか。そのためには、産学官金が一体となって、双方の関係を強化し、新たな取組につなげていく仕組みづくりが重要。

●共同研究(地域研究助成)を実装につなげていくためには「技術移転」までサポートを

企業と大学との共同研究(助成金の活用)については、より実装に近づくものを重点的に支援すべき。また、大学から企業に技術移転をするときには、特許取得に留意を。権利化した上で他社に技術移転することで差別化が進むので、中小企業の支援には、技術移転ができるまで落とし込んで、絵に描いたモチにならないように、伴走型でサポートして欲しい。加えて、先駆的、情報をもっている組織をいかに使うかも大切。どうすれば企業の売上、効率化に資するか、よく念頭において進めて欲しい。

●実装には資金調達が重要、金融機関と積極的な連携を

企業が継続的に稼いでいくには、事業計画や資金調達が極めて重要。製品開発に係る費用感、研究1、試作品10、製品化100というイメージ。こういった面で、金融機関が果たすことのできる役割は非常に大きい。次年度のメインの取組となる「医療介護現場アイデアものづくりプロジェクト」では、金融機関としても積極的に関わりを持って取り組んでいければ良い。

協議会委員一覧(令和4年11月1日～) ※敬称略・順不同

協議会役職	所属	所属役職	氏名
会長・委員	袋井市	市長	大場規之
副会長・委員	静岡理科大学	学長	木村雅和
委員	袋井商工会議所	会頭	豊田浩子
委員	浅羽町商工会	会長	川上政年
委員	株式会社静岡銀行	袋井支店長	石田秀行
監事・委員	浜松磐田信用金庫	袋井中央支店長	伊藤光寿
委員	島田掛川信用金庫	地方創生部長	鈴木康司
委員	ふくろい産業イノベーションセンター	センター長	小笠原敦

お問い合わせ・相談窓口 ふくろい産業イノベーションセンター

〒437-8555 静岡県袋井市豊沢2200-2(静岡理科大学 やらまいか創造工学センター3階)
TEL:0538-45-0136(直通)/FAX:0538-45-0110/E-mail:shakai@sist.ac.jp